

## 報告書抄録

ふりがな	とのがわちうるみだにいせき							
書名	殿河内ウルミ谷遺跡							
副書名	一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	Ⅸ							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	57							
編著者名	牧本哲雄、家塚英詞、高橋章司、坂本嘉和、福島雅儀、岡田裕之、原田克美							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL(0857)27-6711							
発行年月日	2014(平成26)年3月20日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
とのがわちうるみ 殿河内ウルミ 谷遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちやう とのがわちあざ 大山町殿河内字 うるみだにいせき ウルミ谷849-2外	313866	大山5 -249	35° 30' 29"	133° 33' 34"	20120412 ～ 20121219	8,063㎡	一般国道9号 (中山名和道路) の改築
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
殿河内ウルミ 谷遺跡	集 落	旧石器時代				旧石器		
		弥生時代		段状遺構		弥生土器、石器		
		古墳時代～古代		掘立柱建物跡、 段状遺構、柵 列、溝、土坑、 製炭土坑		土師器、須恵 器、須恵器窯関 連遺物、鍛冶関 連遺物、鉄器、 石器、土馬、瓦 類		古代の鍛冶 遺構。大規 模な造成。
		中世		自然河川		土師質土器、瓦 質土器、国産陶 器、輸入陶磁器		
		近世		炭窯、製炭土坑				
要 約	<p>殿河内ウルミ谷遺跡は、旧石器時代から近世にかけての集落跡と考えられる。旧石器時代では、ホーキ層二次堆積土から黒曜石製小石刃・石核・尖頭器などが多数出土した。</p> <p>弥生時代では、中期から後期の段状遺構を検出した。</p> <p>古墳時代末から古代にかけて最も遺構が集中し、急斜面部に掘立柱建物跡、段状遺構、土坑などが多数造営された。掘立柱建物跡には、鍛冶施設が伴うものがある。また、須恵器窯関連遺物が多数出土しており、近辺に須恵器窯が存在する可能性がある。平安時代後期には、精錬鍛冶滓・板屋型羽口などの鍛冶関連遺物が多量に出土し、ウルミ谷川上流部に大規模な精錬鍛冶施設の存在が窺われる。</p> <p>近世以降では、炭窯などを検出した。</p>							

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 57

一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ

鳥取県西伯郡大山町

## 殿河内ウルミ谷遺跡

発行 2014年3月20日

編集 鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

電話(0857)27-6711

発行者 鳥取県埋蔵文化財センター

印刷 株式会社鳥取平版社

〒680-0845 鳥取市富安1丁目79番地







